

実際に乗ってみて感じたことやクラシックに興味を持った経緯など

実はクラシックモデルを多く販売してきたグレイスカブには、当然ユーザーもそれなりに多く、そのオーナーの本音なんかも聞いたらこらから乗りたいと思っている人の参考になるかもしれないと話していたところ、ちょうど半年ほど前に現行モデルのチャレンジャーから'64年インバラに乗り換えたお客さんがいるとのことで、実際に乗って見た感想なんかを中心に話を聞いてみました。

オーナーは現在22歳の村川さん。中学生の頃にはバイクに熱中して同時にクルマにも興味を持っていたようで、すでにこの頃には旧いアメリカ車にも興味を持っていたようです。その後なんと運転免許を取得する直前に'07年のチャージャーを購入。2年間ほど楽しんだ後によりスバルタンな走りを求めて20歳になる頃に'16年のチャレンジャー

に乗り換えたという気合いの入れよう。この時はとにかくアクセルをガンガン開けるような走りをしていて、そんなに長く乗ることも考えていなかったようで、「やりたいことをやりきった感もあって、もうクルマは普通のプリウスとかに乗り換えようかなってグレイスカブに相談にきたんですね。そこで実際に色々調べてみたら、たまたま在庫してあった'64年のインバラとプリウスの値段がほとんど同じということがわかって。ずっといつか自分に余裕が持てたら'69年のカマロに乗りたいたとは思っていたんですけど、どうせなら一度インバラにも乗ってみたいと思って乗り換えたんですよ。特別ローライダーに思入れがあるわけでもないですけど、ハイドロも好きだし、何よりプリウスに乗るくらいだったら断然こっちだなんて思って」。

FOREVER CLASSICS II

いつかは乗りたいクラシックアメリカン
まさに今こそ思い切って乗ってみる？

#2 What exactly?

現行チャレンジャーから'64年インバラに乗り換えた
オーナーのホンネ

text & photographs by MASAHIRO HAYASHI special thanks to GRACE CAB www.gracecab.jp 0568-35-779

スピードを求めていた時とは 全く違う世界を実感した

「自分ではメンテナンスとかはやらないので、すべてショップに任せられています。オーディオを追加したりマフラーを交換して、最近ちょっと調子が悪いキャブレターの調整なんかも面倒見てもらっています。キャブレターエンジンの扱いは、バイクに乗っていたので特に問題なかったですね。駐車場は普通の月極です。維持に関しては毎月のコストが下がりましたね。それまでと乗る頻度は変わらないんですけど、スピードを出さない分ガソリン代が大幅に減りましたよ(笑)。乗り換えてから半年ちょっと経つんですけど、やっぱりチャレンジャーの時とは全く違いますよね。具体的には、走りながらウインドシールド越しに見える風景を楽しめるというか。今まで味わったことのない感覚を覚えました。スピードとは全く違う世界とでも言いましょうか。そこが一番大きいかもしれません。もちろんチャレンジャーはチャレンジャーで最高でしたけど」。

毎月のコストはローン、保険や駐車場、ガソリン代で6万円くらいのもので、特に無理することなく乗れているようです。

「当時のバイク仲間なんかも昔のアメ車に興味はあるんですけど、やっぱり自分には乗れないと思っている人が多いですかね。自分もその一人だったんですけど、飛び込んで見たら全く新しい世界を知れたんで本当に良かったと思っています。もちろんグレイスカブで色々面倒見てもらっているので、それがなかったら今頃プリウスに乗っていたかもしれないですけどね。もちろん今でもいつかは'69年のカマロに乗りたいた夢は持っているし、'70sのチャージャーやシェヴェルとか好きなクルマはいっぱいあるので、まずはこのインバラでゆっくり勉強しながら少しずつ綺麗にしていこうと思っています」。

現行のチャレンジャーを売却して、プリウスかインバラという驚きに選択肢からインバラに乗り換えた村川さんからは、維持管理がどうのこうのというより、新しいクルマとの付き合いかたや乗り方を知って今はそれに夢中になっているような印象でした。

ユーロだって国産だってそれぞれの味があるし、自分に本当にマッチしたクルマを探すなら、このようなクラシックも是非、選択肢に加えてみてはいかがでしょうか。

